

適用形式: スーパーリンク対応全形式(※1)

項目		形式	SC-SLA3R	SC-SLB3R
使用時周囲温度			0~40℃	0~40℃
電源			単相 100V,200V 50/60Hz	単相 100V,200V 50/60Hz
消費電力			17W	17W
外形寸法(高さ×幅×奥行)			162mm X 240mm X 110mm	162mm X 240mm X 110mm
質量			2kg	2kg
最大接続台数(室内ユニット)			最大 48 台/系統 X 3 系統 = 144 台	最大 48 台/系統 X 3 系統 = 144 台
LCD タッチパネル ※4、※5			カラーLCD 7インチワイド	カラーLCD 7インチワイド
入力	SL(スーパーリンク)信号入力		3 系統	3 系統
	ガス、電力パルス入力 ※2			8 点 パルス幅 100ms 以上
	火災信号入力 ※2		1 点 無電圧 a 接点入力 連続入力 (閉;強制停止)	1 点 無電圧 a 接点入力 連続入力 (閉;強制停止)
	デマンド信号入力 ※2		1 点 無電圧 a 接点入力 連続入力 (閉;デマンド制御)	1 点 無電圧 a 接点入力 連続入力 (閉;デマンド制御)
出力	一括運転出力		1 点 最大定格電流 40mA, DC24V 全停止時;開 一台でも運転ユニットがある場合;閉	1 点 最大定格電流 40mA, DC24V 全停止時;開 一台でも運転ユニットがある場合;閉
	一括異常出力		1 点 最大定格電流 40mA, DC24V 正常時;閉 一台でも異常ユニットがある場合;開 ※6	1 点 最大定格電流 40mA, DC24V 正常時;閉 一台でも異常ユニットがある場合;開 ※6
他の集中制御機器との併用			※8	※8

※1 一部の機能は室内機モデルによって使用できない場合があります。(次頁)

※2 SLA-3R/SLB-3R 本体側の電源は、DC12V(10mA)です。

※3 課金機能が必要な場合は SLB-3R をご使用願います。

※4 バックライト OFF 時間の設定にもよりますが、LCD バックライトの寿命は約 2 万時間で、その後輝度が半分程度になります(周囲温度が 25℃)。

※5 タッチパネルは約 100 万回の耐久です。

※6 環境設定画面にて、一括異常出力を正常時;開、異常時;閉に変更することも可能です。

※7 本ユニットの空調料金計算は、計量法によるものではありません。(SLB-3R の場合)

※8 センターコンソール SLA-2AR は、スーパーリンク 1 系統あたり 1 台接続できます。

但し、5, 8, 10 馬力のGHP室外機が 1 台でも混在するときは、室内ユニットの最大接続台数は 32 台です。

センターコンソール SLA-1 シリーズ、SLA-200 シリーズ、CHC-M\*シリーズ、SC-WGW シリーズ、SC-LIF シリーズ、

SC-LGW シリーズ、及び SC-BGW シリーズとの組合せは不可です。

SLA-3 シリーズ、SLB-3 シリーズを同一ネットワークに複数台接続することはできません。

※ 壁埋め込み設置の場合は、別売品の SLA3R-BX が必要です。予め手配願います。

※ SLB-3R の課金計算はお客様のパソコンで行って頂きます。

環境条件は Microsoft® Windows® 2000 professional Service Pack 3, 4 又は Microsoft® Windows® XP が必要となります。

適用機種	
形式	SC-SLA3R, SLB3R
発行者	名称 仕様
佐々倉	図番
06.11.1.0	PJZ000Z243
	訂 行 業 別
	1 10

(1) 操作・設定



最大144グループまでの操作・設定をグループ単位、一括で実施します。一括で操作・設定する対象グループは予め設定しておく必要があります。

(注)ブロック単位での操作・設定はできません。

No.	項目	内容
1	運転／停止	運転又は、停止操作を行う。
2	運転モード	冷房、暖房、除湿、送風、自動※1を設定する。
3	温度設定	18℃～30℃(1℃単位)で設定する。
4	リモコン操作許可禁止	リモコン操作の許可／禁止を設定する。運転／停止操作、運転モード設定、温度設定、各機能の許可禁止を設定する。(※) リモコンタイマー操作の許可/禁止は、グループ設定対象全室内機を一括で設定する。
5	風速	急風、強風、弱風を設定する。
6	風向	オートスイングON/OFF、位置1～4を設定する。
7	フィルターリセット	フィルターサインのリセット(消灯)を操作する。
8	点検リセット	運転または停止操作により、点検サイン(異常表示)を消灯する。

※1 自動モードは冷暖フリーマルチまたはセゾンタイプと接続されている室内機以外では使用しないでください。

※2 機能毎の許可禁止機能は EHP は HKXD4 型 LX 以降、GHP は HMD6 型以降室内機との接続かつ新リモコン(RC-D2 以降)との組合せにより有効となります。

適用機種	
形式	SC-SLA3R, SLB3R 
発行者	名称 仕様
佐々倉	図番
06,1,1,1,0	PJZ000Z243  訂 符 案 別 2

(2) 状態監視

状態監視をブロック単位(運転状態、故障のみ監視)、グループ単位、空調機単位で行えます。


No.	項目	内容
1	運転状態	空調機の運転・停止状態を監視する。 1台以上の運転にて運転、全台停止で停止と表示する。
2	モード	代表空調機の運転モードを表示する。
3	温度設定	代表空調機の設定温度を表示する。
4	室温	代表空調機の吸い込み温度を表示する。
5	リモコン操作許可禁止	代表空調機のリモコン操作の許可/禁止、運転/停止操作の許可/禁止、モード設定の許可/禁止、及び温度設定の許可/禁止を表示する。
6	風速	代表空調機の風速設定を表示する。
7	風向	代表空調機のオートスイングON/OFF設定、位置設定を表示する。
8	フィルターサイン	1台以上のフィルターサイン点灯でフィルターサインを表示する。 全台フィルターサイン消灯でフィルターサインを消灯する。
9	メンテナンス (※) (定期点検 1・2、バックアップ)	1台以上の<定期点検 1・2、バックアップ>点灯でメンテナンス表示する。 全台<定期点検 1・2、バックアップ>消灯でメンテナンス表示を消灯する。 定期点検 1、2、バックアップ運転の3種類がある。 表示の優先順位は下記とする。 バックアップ運転>定期点検 1>定期点検 2
10	故障	1台以上の故障発生で故障を表示する。 全台正常の場合のみ故障を消灯する。

※ 運転時間が 9800 時間以上で定期点検 2、10000 時間以上で定期点検 1 と表示します。(GHP のみ)

(3) スケジュール設定

運転スケジュールはグループ単位で設定が行えます。1日に16スケジュールまで動作時刻、運転/停止、モード、リモコン操作許可禁止、温度設定を登録することができます。動作時刻指定は分単位で設定できます。

No.	項目	内容
1	年間スケジュール	希望の年月日を指定して平日・休日・特日 1・特日 2 を選択指定する。(1 年分の設定が可能)
2	当日スケジュール	当日のみ有効となるスケジュールを設定する。 当日スケジュールは、他のスケジュール(年間・特日)よりも優先される。
3	特定日設定	年間スケジュールで使用する平日・休日・特日 1・特日 2 の各スケジュールを設定する。

適用機種	
形式	SC-SLA3R, SLB3R 
発行者	名称 仕様
佐々倉	図番 P J Z 0 0 0 Z 2 4 3
06.11.10	訂 符 業 別 3

(4) 管理・制御

No.	項目	内容
1	ブロック定義	ブロック名称と構成グループを設定する。ブロックに登録するグループはあらかじめグループ定義で登録されている必要がある。ブロック設定されていないグループは、全ブロック表示からの詳細設定・状態表示ができない。初期状態は全ブロック未定義の状態である。 ・ 最大ブロック数 16、1ブロック当りの最大グループ数 9 ブロック名最大文字数 全角8文字(半角英数字16文字) ※1
2	グループ定義	グループ名称と構成空調機(最大16台/グループ)、代表空調機、一括制御対象/非対象、デマンド制御対象/非対象空調機を設定する。グループ設定されていない空調機は、本機の管理対象外になる。初期状態では1グループにつき1空調機が割り当てられ、グループ名に空調機番号が充てられる。 ・ 最大グループ数 144、1グループ当りの最大空調機数 16 グループ名最大文字数 全角8文字(半角英数字16文字) ※1
3	空調機定義	本機に接続されている空調機の空調機種別、能力を設定する。
4	日時設定	スケジュール等で使用する時計を設定する。 ・年(西暦)/月/日/時(24時間形式)/分
5	異常履歴	空調機単位での異常発生・復旧の履歴を最大300件表示する。復旧後、電源をOFFにすると消去される。
6	課金時間帯設定 ※2	課金管理で使用する「時間内」の時間帯を設定する。
7	課金用運転データ積算※2	空調機毎の運転時間、運転量(課金計算用データ)を「時間内」「時間外」に分けて1分毎に積算し、10分毎にファイル保存する。
8	デマンド制御	外部からのデマンド信号で予め設定されている空調機を「送風」「リモコン操作禁止」にする。デマンド信号解除で元の状態に戻る。デマンド信号解除でスケジュール設定されているグループに対し解除時刻以前で最も近い当日スケジュール設定に従う。最も近いスケジュール時刻に、運転/停止、運転モード、リモコン操作許可禁止、設定温度の項目の中で無設定(“—”表示)の場合は、解除時刻前の最も近い時刻の設定指示に従う。スケジュール設定されていないグループに対しては、デマンド制御に入る直前の状態(運転モード、リモコン操作許可禁止設定)に戻る。
9	緊急停止	外部からの緊急信号で本機に接続されている全ての空調機を「停止」「リモコン操作禁止」にする。緊急信号解除で手元許可禁止設定を元の状態に戻すが、全機「停止」のままとなる。緊急信号解除で、スケジュール設定されているグループに対し解除時刻以前で最も近い当日スケジュール設定に従う。最も近いスケジュール時刻に、運転/停止、運転モード、リモコン操作許可禁止、設定温度の項目の中で無設定(“—”表示)の場合は、解除時刻前の最も近い時刻の設定指示に従う。スケジュール設定されていないグループに対しては、リモコン操作許可禁止設定を元の状態に戻すが、全機「停止」のままとなる。
10	停復電制御	復電時、スケジュール設定されているグループに対し復電時刻以前で最も近い当日スケジュール設定に従う。最も近いスケジュール時刻に、運転/停止、運転モード、リモコン操作許可禁止、設定温度の項目の中で無設定(“—”表示)の場合は、復電時刻前の最も近い時刻の設定指示に従う。該当日のスケジュール設定が無い場合は、SLA-3R/SLB-3R からは何も送信せず空調機の設定に従い表示を更新する。但し、リモコン操作許可禁止設定は全許可となる。
11	停電補償 ※3	グループ定義、ブロック定義、空調機定義、年間スケジュール設定、特定日設定、課金時間帯、環境設定、当月、前月、前々月の課金データファイルを不揮発性メモリにより補償する。時計は 48 時間以内の停電であれば補償する。

- ※1 カタカナは全角として扱います。
- ※2 SLB-3R の場合。
- ※3 停電前の各室内機の運転状況及び設定内容は保持されません。  
(運転モード、設定温度、リモコン操作許可禁止設定状態等)

適用機種	
形式	SC-SLA3R, SLB3R
発行者	名称 仕様
佐々倉	図番
06.1.1.1.0	PJZ000Z243
	訂 符 演 別 4

(5) 課金データファイル(SLB-3Rの場合)

課金データをファイル出力します。USBメモリを介し市販表計算ソフトにて編集頂けます。  
課金データは各月単位で作成されます。

〈計算手順〉

- ① 各空調機の運転時間を積算する。(毎分)
- ② 各空調機の運転量(Ki)を求め、時間帯別(時間内、時間外)に積算する。(毎分)

$$K_i = K_{i1} + K_{iM}$$

$K_{iM}$  : 1分間の空調機運転量

運転量は次の3手法により計算します。

空調機定格膨張弁開度換算値がEである場合の運転量

・冷媒流量 : 室内機に流れる冷媒流量を考慮した換算値を加算する。(ΣE)

(E): 毎分の室内機膨張弁開度換算値)

・サーモ ON/OFF: 室内機に冷媒が流れている時間を換算し加算する。(サーモ ON 時間×E)

・運転時間 : リモコンが ON している状態を換算した値を加算する (運転時間×E)

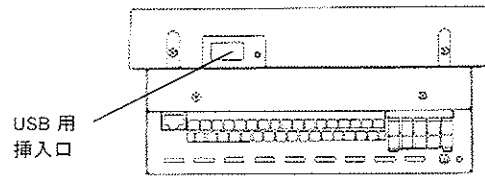
(E: 毎分の室内機能力換算値)

\* 同一電力計(ガスメータ)系統は同じ種別に設定して下さい。

\* マルチ1、マルチ2に設定すると、送風モード室内機は按分対象外になります。

送風モード室内機を按分対象とする場合は ON/OFF に設定してください。

\* 夜間等に空調を使用しない場合の待機電力分は、運転室内機が存在せず按分できないため、メータ値と一致しません。表計算ソフトを使用し、課金データを再計算してください。



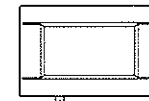
本体下側

- ・ 課金データを編集する簡易ソフトを付属します。操作方法につきましては付属ソフトに従って下さい。
- ・ 課金データは本体より付属のUSBメモリ経由で取り出せます。

付録1 月報データ出カイメージ

\*\*\* D:\YK\\*SWwork\\*Air\Tmp\SLB3R\\*ab\*y\*当月ガス0411.csv (11/01 - 11/30)

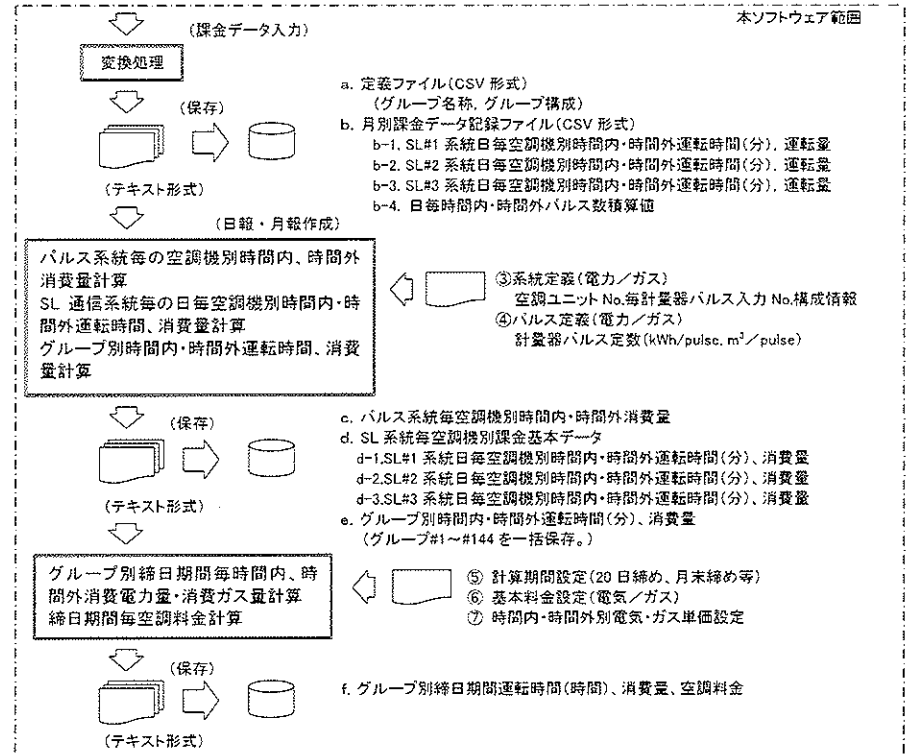
グループNo	グループ名称	内運転時間	外運転時間	内ガス量	外ガス量	内ガス料金	外ガス料金	基本料金	ガス空調料金
1	入口	429.3	10	20.14	0.42	3222.4	58.9	700	3981.2
2	受付	214.7	5	10.07	0.21	1611.2	29.4	700	2340.5
3	自販機コーナー	214.7	5	10.07	0.21	1611.2	29.4	700	2340.5
4	ロビー応接	644	15	30.21	0.63	4833.6	88.2	700	5621.8
5	未使用								
6	未使用								
7	未使用								
8	化驗室	214.7	5	10.07	0.21	1611.2	29.4	700	2340.5
9	SLA 1F 総務部	3434.7	80	181.12	3.36	25779.2	470.4	1300	27549.5
10	未使用								



SLB-3R 本体

本装置による空調料金計算は計量法によるものではありません。

- ① 定義ファイル: SLB-3R の“課金データ転送”操作により USB メモリに転送されます。“定義データバックアップ”操作でも転送できます。本ファイルには、グループ名称およびグループ構成情報が記録されています。
- ② 月別課金データ記録ファイル: SLB-3R の“課金データ転送”操作により転送されます。本ファイルには、日毎空調機別時間内・時間外運転時間、時間内・時間外運転量、時間内・時間外バルス数積算値が記録されています。

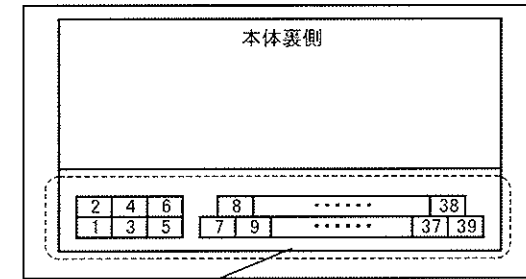
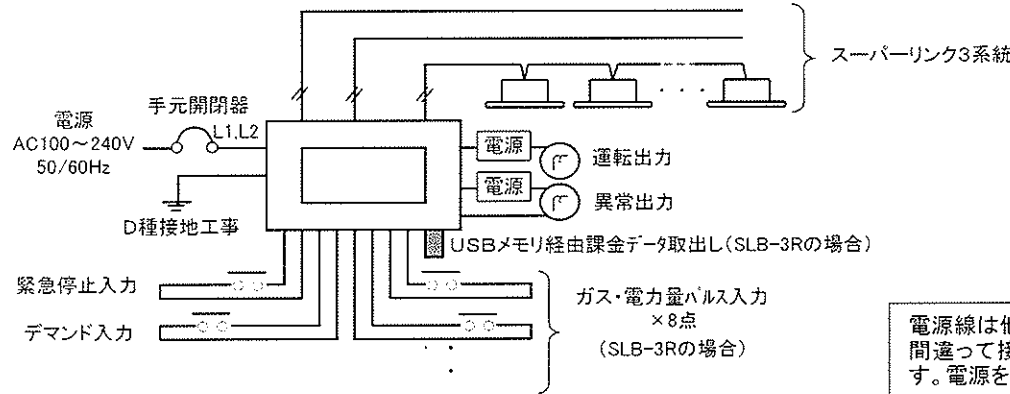


適用機種	
形式	SC-SLA3R, SLB3R
発行者	名称 仕様
佐々倉	図番 PJZ000Z243
06.11.1.0	訂 符 票 別 5

- ・D種接地工事は必ず行ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないで下さい。
- ・電源(手元開閉器)はすべての作業が終わるまで入れないで下さい。
- ・図中の本体以外は現地で手配して下さい。(配線、スイッチ、リレー、電源、ランプ等)

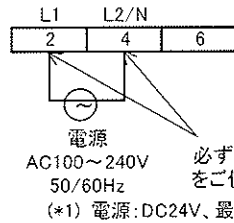
◎ システム配線

端子台は2段になっています。



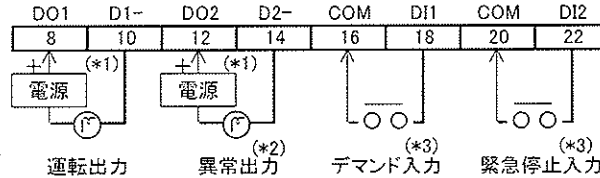
電源線は他の端子台に接続しないで下さい。  
間違っていると電気部品の破損、焼損を招き非常に危険です。  
電源を入れる前にもう一度配線のチェックをして下さい。

① 上側



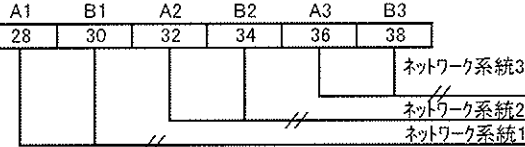
必ず付属の端子  
をご使用下さい。

(\*1) 電源: DC24V、最大定格電流: 40mA

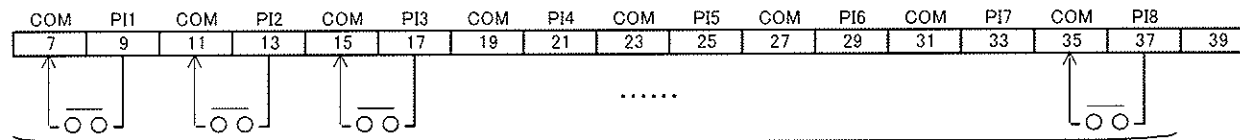
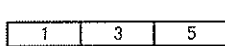


(\*2) 異常出力の初期設定は正常時: 開、設定により正常時: 開に変更可

(\*3) 無電圧 a 接点入力、接点容量: DC12V、10mA



② 下側



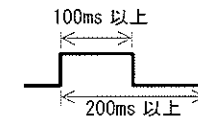
ガス・電力量計量器入力8点 (SLB-3Rの場合)

1) スーパーリンク用信号線

- サイズ: 0.75mm<sup>2</sup>~2.0mm<sup>2</sup>
- 許容延長長さ: 1000m 以内/1 系統当り
- 推奨信号線

No.	名称	記号
1	ビニルキャブタイヤ丸形コード	VCTF 2心 0.75~2mm <sup>2</sup>
2	ビニルキャブタイヤ丸形ケーブル	VCT 2心 0.75~2mm <sup>2</sup>
3	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2心 0.75~2mm <sup>2</sup>
4	シールド線	MVVS 2心 0.75~2mm <sup>2</sup>

接続する計量器は以下の仕様を満足するものをご使用下さい。  
・パルス発信器付計量器であるもの  
・パルス幅が 100ms 以上あるもの



- ・ノイズの影響のある場合は、シールド線をご使用ください。
- ・誤配線を防止するため、シールド線を用いれば、AC100, 200V の電源線との区別に役立ちます。

適用機種	
形式	SC-SLA3R, SLB3R
発行者	名称 電気配線
佐々倉	回番 P J Z 0 0 0 Z 2 4 3
06,11,1,0	訂 符 業 別 6

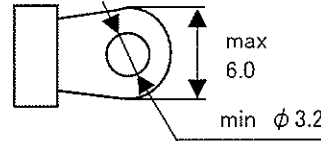
2) その他信号線

- サイズ:0.75mm<sup>2</sup> ~1.25 mm<sup>2</sup>、最大延長 200m

3) 電源線

- サイズ:1.25 mm<sup>2</sup>

4) 適合圧着端子



例) パルス単位の選定について(SLB-3R のみ)

1) パルス入力の受け側の制限 : 1 秒:5 パルス以内(1 分:300 パルス以内)、1 日:1 パルス以上

2) パルス単位の選定

- ① 接続する空調機の所要電源容量の総量を求める。
- ② それに見合った積算電力計を仮選定する。
- ③ 空調機の最大稼働状況:夏場の過負荷状況想定、例えば総消費電力量×1.2 とすると

例) 総消費電力状況=100kW、力率=90%のとき最大稼働状況=100×1.2=120kW、3 相 200Vでは、 $I=120 \times 1000 / (1.732 \times 200 \times 0.9)=385A$   
 →電力量計は 400A のものが必要となる。

三菱電機製のもので 400A で発振装置を選ぶと

- ・K11 形では、パルス単位 100kWh/P 又は 10kWh/P のいずれかの選択
  - ・K12 形では、パルス単位 100kWh/P 又は 10kWh/P 又は 1kWh/P のいずれかの選択
- ※さらに小さいパルス単位については電力計メーカーと相談ください。

④ 消費電力量が 120kWh の時のチェック

- 一番パルス入力が多いとき 0.1kWh/P を選定すると、1200P/h=20P/min 即ち 1 分間に 20 パルス(300 パルス以内)なのでOK。
- 使用率が落ち、例えば 1/10 に減った(12kWh)とすると、10kWh/P を選定すると、1.2P/h=0.02P/min 即ち 1 分間ではパルス無し、1 日に 28.8 パルスなのでOK。

3) 電気パルス入力の最大カウント数

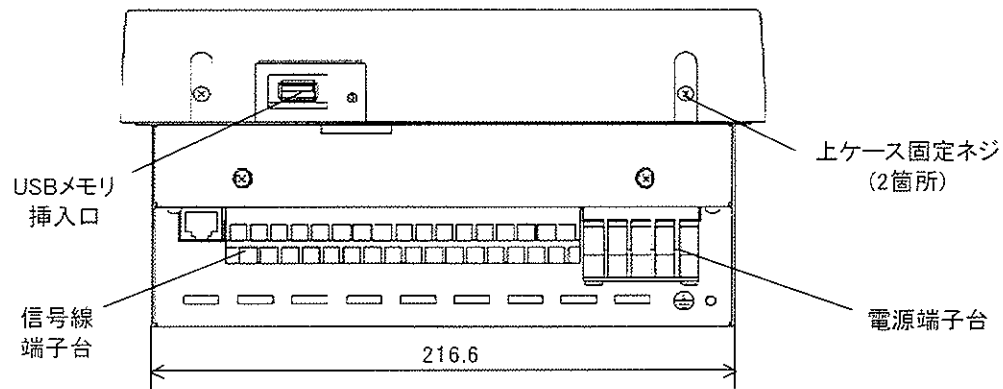
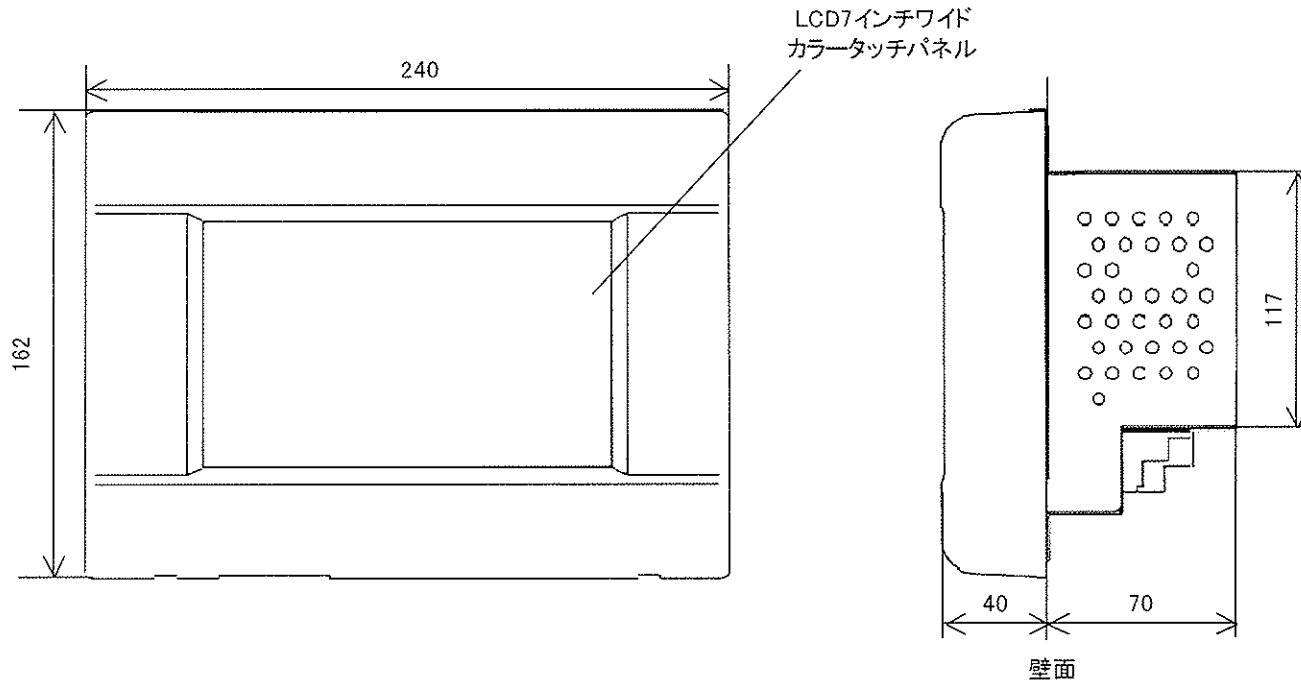
電力量パルス単位	0.01kWh/P	0.1kWh/P	1kWh/P	10kWh/P
最大計測可能電力量	4,320kWh/日	43,200kWh/日	432,000kWh/日	4,320,000kWh/日
	180kWh/h	1,800kWh/h	18,000kWh/h	180,000kWh/h

4) ガスパルス入力の最大カウント数

ガス量パルス単位	0.01m <sup>3</sup> /P	0.05m <sup>3</sup> /P	0.1m <sup>3</sup> /P	0.5m <sup>3</sup> /P
最大計測可能流量	4,320m <sup>3</sup> /日	21,600m <sup>3</sup> /日	43,200m <sup>3</sup> /日	216,000m <sup>3</sup> /日
	180m <sup>3</sup> /h	900m <sup>3</sup> /h	1,800m <sup>3</sup> /h	9,000m <sup>3</sup> /h

0.05 m<sup>3</sup>/P の時、2 m<sup>3</sup>/h 使えば 40 パルス/h。 0.5 m<sup>3</sup>/P の時、10 m<sup>3</sup>/h 使えば 20 パルス/h。

適用機種		形式 SC-SLA3R, SLB3R		
発行者	名称	電気配線図		
佐々倉	回番	訂	行	業 別
06.11.1.0	PJZ000Z243			7



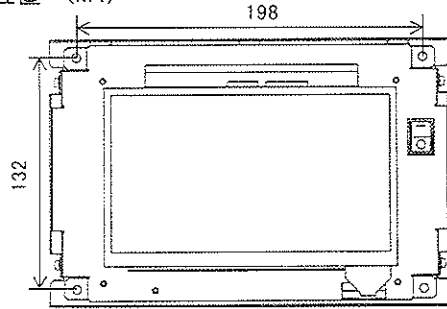
塗装色 パールホワイト  
(マンセル N-8.5 近似)

サービススペース 前面 500mm 以上  
下面 200mm 以上

形式		SC-SLA3R, SLB3R		
発行者	名称 外形図			
佐々倉	図番	PJZ000Z243		訂 符 要 別
06.1.1.1.0				8



(1) 取付け穴位置 (M4)



(2) 盤取り付けの場合の盤の選定方法

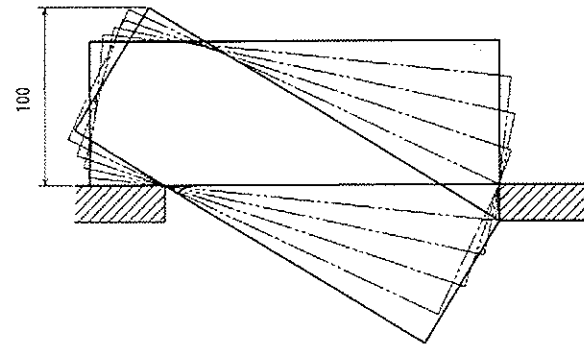
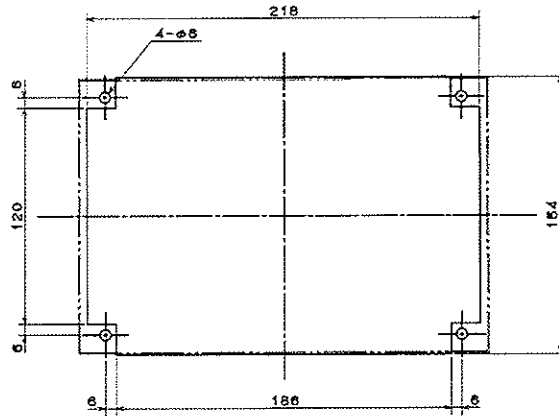
盤のサイズは、高さ 300 mm × 幅 400 mm × 奥行き 120 mm 以上で選定願います。  
 これ以下の場合高温となり正常に動作しなくなることがあります。  
 (推奨品例: 日東工業㈱製 RA12-43, CH12-43 等)

(3) 壁埋め込みの場合の取付必要寸法

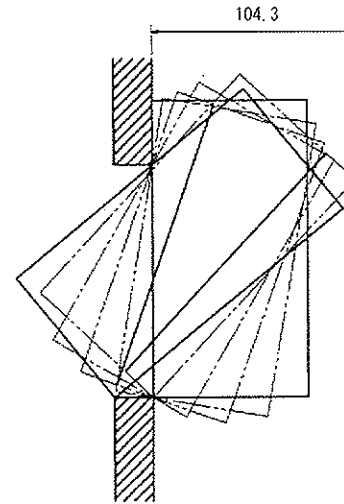
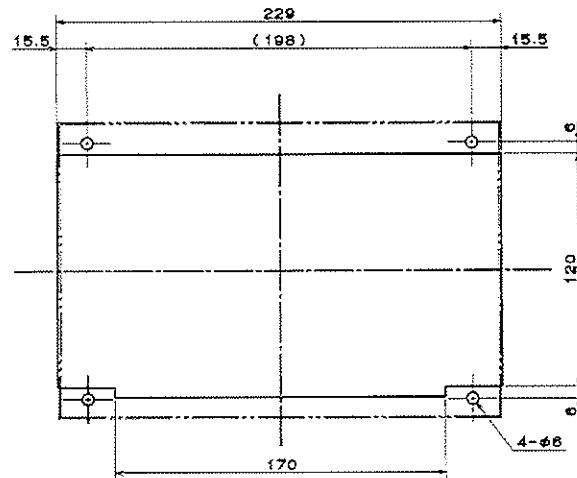
壁埋め込みの場合は別売の専用 BOX(SLA3R-BX)が必要です。予め手配願います。  
 (専用 BOX を使用しない場合、熱がこもり動作しなくなることがあります。)

(4) 必要開口スペース

[方法①]

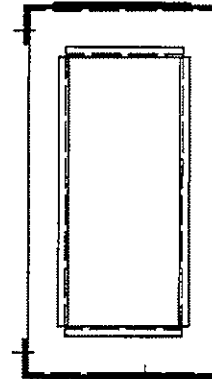
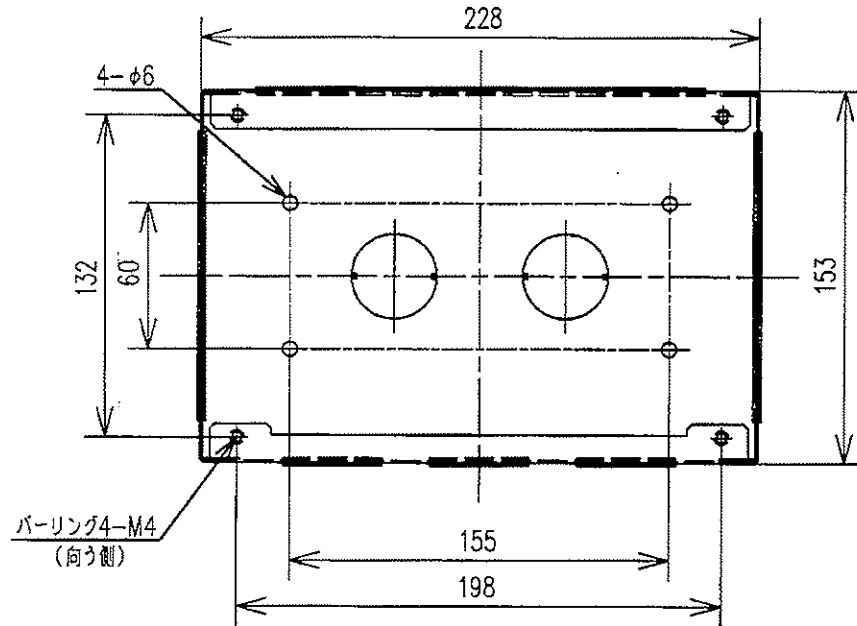
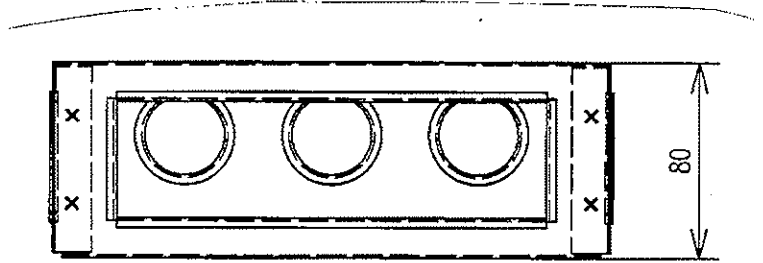


[方法②]



適用機種			
形式	SC-SLA3R, SLB3R	④	
発行者	名称	外形寸法	
佐々倉	図番	PJZ000Z243	
06.1.1.10		訂	符 業 別 9

(5)壁埋め込み用 BOX(SLA3R-BX)外形寸法



適用機種		
形式	SLA3R-BX	
発行者	名称	外形寸法(壁埋め込みBOX)
佐々倉	図番	PJZ000Z243
06.1.1.10		訂 符 業 別 10